

2024 年度第 3 回価格審査会の開催について

2024 年度第 3 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2024 年 6 月 14 日(金) 10:00～12:00		
場 所	本部 6 F 大会議室		
委 員	松田 寛志	日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長	
	栞原 圭一	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長	
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長	
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長	
	早川 和利	東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)	
当 会	共通資材調査部	部長：大澤 勝、次長：小林 法雅	
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢	
	監査審査室	室長：黒澤 昭浩	
	総合研究所	課長：山本 高史、総括主任：伊沢 佳織	
	調査統括部(事務局)	部長：柴尾 治、課長：本間 哲	

☐2024 年度第 2 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2024 年度第 3 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号	
「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向	
・ 価格が上伸した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
異形棒鋼（岐阜市ほか12都市）、レディーミクストコンクリート（滝川市ほか27都市）、再生砕石類（青森市ほか32都市）、一般建築用木材（青森市ほか28都市）、アスファルト混合物（甲府市ほか19都市）、ストレートアスファルト（全国）、建築用コンクリートブロック（札幌市）、600Vビニル絶縁電線（IV）（北海道地区ほか9都市）、燃料油（札幌市ほか15都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか48都市）ほか	
【土木コスト情報】	
＜市場単価＞鉄筋工（新潟県ほか9都市）、道路標識設置工（全国）、道路標識設置工（北全国）、薄層カラー舗装工【市場単価】（全国）ほか	
＜土木工事標準単価＞区画線工（全国）、橋梁塗装工（全国）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）【土木工事標準単価】（全国）、構造物とりこわし工（北海道ほか20都市）ほか	
【建築コスト情報】	
＜市場単価＞鉄筋工事【市場単価】（青森市ほか19都市）、型枠工事【市場単価】（青森市ほか35都市）	
＜標準施工単価＞土工事（仙台市ほか5都市）、配線工事（全国）、ダクト設備工事（全国）	

ほか ・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 一般建築用木材（全国）レディーミクストコンクリート（静岡市）一部規格 【土木コスト情報】 なし 【建築コスト情報】 なし 2. 比較資料 ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明		
審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	建築コスト情報の空調・衛生設備工事の価格が上昇しているものの、大幅な値上がりとは至っていない。今後の先行きの見通しはどうか。	空調・衛生工事は、昨年から需給ひっ迫により価格が上昇しており、建築コスト情報の関連工種に反映している。今後も値上げ傾向は続くともっている。
質問 2	地質調査費の上伸理由として、補足コメントに「技術者単価の上昇」とあるが、これは国土交通省が公表している「設計業務委託等技術者単価」と連動したものなのか、それとも地質調査業者各社の価格改定によるものなのか。	地質調査費の上伸理由は、地質調査業者各社の人件費高騰を背景とした価格改定交渉が浸透したことによるものである。
質問 3	一般建築用木材について、価格が上伸している資材と下落している資材がある。価格が上昇している資材の地区は、東北地区から近畿地区までであり、下落している資材の地区は、東北地区から近畿地区に加えて中国地区、四国地区、九州地区となっている。価格が変動している地区に差が生じているのはどうしてか。	価格が変動している地区の差は、各地区の需給状況、競合状況等を背景とした価格交渉の結果によるものである。
質問 4	ストレートアスファルトと改質アスファルト、どちらも原材料高によって値上がりしているが補足コメントの値上がり要因が異なっている理由は何か。	ストレートアスファルトも改質アスファルトも原材料は原油であり、値上がりの要因は同じである。補足コメントの表現が違うのは、ストレートアスファルトは石油元売り会社が仕切り価格を改定するのに対し、改質アスファルトは元売り会社の価格改定を受けて改質アスファルトメーカーが価格を改定する流れとなるため、若干表現が異なっている。

質問 5	土木コスト情報「道路標識設置工」のみが他の工種と比較して大幅変動となっている。他の工種にはない特別な要因があるのか。	「道路標識設置工」では、支柱を曲げる加工費（加算額）のみが値上がりしている。この加算額は、本体の設置費と比較して安価な単価水準となっているため、変動額は小さいが変動率にすると大きく出る傾向にある。よって、他の市場単価工種と比較して変動率が大きくなっている。
質問 6	PC 鋼関連資材が全国で上伸しているが、変動率の大小は何によるものか。	PC 鋼より線と PC 鋼棒の変動率に差が生じた要因は、製品の違いによる影響が大きい。また製品価格が安価であれば、変動額は微増でも変動率では大幅増となることや、メーカー各社の営業戦略など変動率に差が生じる要因は様々である。
質問 7	セメントの市況コメントで「国内需要の低迷に歯止めがかからない」とあるが、東京地区だと現状でもある程度の需要があるように感じる。需要低迷と判断した背景は何か。	東京地区は生コン出荷量が増加していることから、セメント需要は堅調である。しかし、国内のセメント需要は 5 年連続で前年を下回っている状況にあり、今後の需要回復も見込めないことから、需要低迷と判断した。
質問 8	レディーミクストコンクリートで最大変動率が 100%となっているが、どのような状況か。	九州の小林地区で、小型車割増が 1,000 円から 2,000 円に上伸したことによる。本体価格に加算することが前提である割増額は、単体で比較すると変動率が大きくなる傾向にある。
質問 9	「土壌改良材」と「公園補助資材」の最大変動率が大きい理由は何か。	「土壌改良材」と「公園補助資材」はブランド品の掲載であるため、掲載価格は各メーカーの価格改定方針に直接影響を受ける。今回は一部メーカーが出荷状況等を考慮して特定規格で値上げ幅を拡大したため最大変動率が大きくなっている。
質問 10	異形棒鋼と H 形鋼の市況コメントに「計画の見直しや発注延期が相次いでいる」「工期の遅延や計画の見直しが相次ぎ」と類似した記載があるが、どのような状況なのか。	人手不足や資材価格高騰から建設計画の見直しが増加しており、異形棒鋼や H 形鋼の需要が低迷している。また見直しは中小物件で多く見られるため、販売店による市中取引は特に需要が低迷している状況である。
審議結果	「建設物価」7 月号、「Web 建設物価」7 月号 「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向に問題はなかった。	